

絶対に止められない、カード会社のITインフラ ノウハウを活かして安全・確実な本社移転を遂行

顧客本位の姿勢で、クレジットカード・ビジネスを展開する三井住友カード。同社は、設立40周年を機に本社オフィスを移転し、4カ所に分散していた本社機能を1カ所に集約した。一方、カード会社である同社には、移転中といえども、絶対に止めることの許されないシステムも存在する。そこで、ITインフラ移転のまとめ役にNECネットズエスアイを選定。その知見により、1年という短期間での「安全」かつ「確実」な移転を成功させた。



三井住友カード株式会社
システム企画部 グループマネージャー
馬欠場 鉄男氏



三井住友カード株式会社
総務部（東京）グループマネージャー
近藤 佳朗氏

本社ビルを移転し 分散したオフィス機能を統合

1967年に設立され、日本における「VISA」のパイオニアとして、クレジットカード・ビジネスを牽引する一員である三井住友カード。

異業種企業の参入、貸金業法の改正など環境変化により競争が激化しているカード業界にあって、同社は年々取扱高を増やし、順調な成長を続けている。近年では、NTTドコモと共同で展開している後払い電子マネー「iD」や、中国銀聯と提携した日本での銀聯利用店舗の開拓、日本初*となる銀聯カードの発行など、常に先進的な取り組みで業界をリードしている。

昨年、同社は設立40周年を迎え、それを機に本社ビルの移転を決めた。「背景には、建物の老朽化、事業の拡大によるワーカー数の増加、この吸収策としてスペース効率の向上などによる業務運営の合理化、従業員のモラルアップを図り、かつ、対外的にも『業界トップブランド企業』であることをアピールするという狙いがありました」と三井住友カードの近藤 佳朗氏は語る。

ITインフラ移転・設計のまとめ役に NECネットズエスアイを選定

本社ビルを移転するに当たり、同社が真っ先に掲げたのが「安全」かつ「確実」に移転を完了することだ。

「設定された移転期間は1年間。従業員約1200人規模の移転としては、決して多くの時間があるとは言えません。さらに、当社内には重要な情報が大量に保管されており、それらの搬出・搬入には、厳重な注意が必要となります。また、カード会社である当社には、絶対に止めることの許されないシステムも存在します。限られた期間の中で、適切に情報を守りつつ、システムを無停止のまま移転させなければならなかったのです」と同社の馬欠場 鉄男氏は話す。

しかも、カード会社の業務は多岐にわたるため、同社のシステムも複数のITベンダーが携わっている。それらの移転作業を個別に依頼し、同時に作業を進め、安全性を確保するのは容易ではない。そこで、同社では、各ベンダーを取りまとめ、システムの移転をトータルにマネジメントできるベンダーを探すことにした。

複数のベンダーに提案を依頼し、同

社が最終的にプロジェクトマネジメント役に選定したのが、オフィス移転ソリューションを擁するNECネットズエスアイである。

「何より決め手になったのが実績の多さです。過去に数多くのプロジェクトを成功させた実績があり、非常に安心感がありました。また、システム面だけでなく、ネットワークや電話、ファシリティの面までカバーできるサービス提供範囲の広さも魅力でした」と馬欠場氏は、選定の理由を説明する。

豊富な経験とノウハウで 無停止でのシステム移転を成功

移転プロジェクトが本格的に動き始めたのは2007年7月。NECネットズエスアイは、システム移転、ネットワークやPCなどの移転と設計、新オフィスのサーバールーム設計などを担当した。「NECネットズエスアイには、内装や設備工事を含め全体を統括するプロジェクトマネジメント会社とも密に連携してもらい、ITに関する全体マネジメントと実際の移転作業を行ってもらいました」と近藤氏は、今回のプロジェクトの体制について話す。

最大の課題であったシステム移転については、システムを重要度で切り分け、特に24時間365日の無停止稼働が義務づけられているシステムについては、同社の要請に基づきデータセンターへの移転をNECネットズエスアイが提案。本社移転に先立ってシステム移転を実施した。これは、オフィス移転そのもののリスクから、システム移転が抱えるリスクを切り離し、対応に当たる人員や時間を十分に確保しておくためである。

テレビ会議システムを設置した会議室



広々とした仕切りのないオフィス空間



加えて、新オフィス内に設置されたサーバールームの設計についても、移転後の運用、サーバーの収容効率を考慮したラック設計、電源、空調の配備を行うなど、システムとファシリティ面で随所にNECネットズエスアイの知見が反映されている。

こうした経緯を経て、新オフィスの移転は予定通り1年で完了。移転時には、IP電話の導入やテレビ会議システムの刷新といった新たなITソリューションも活用している。

「当初は、移転時にもっと多くの新施策を実施したいという思いもありました。しかし、私たちの要望に対し、NECネットズエスアイは『それは、今の段階でやるべきではない。移行を完了したうえで取り組むべき』など、常に安全性と確実性を念頭に置いたアドバイスをしてくれました」と馬欠場氏。

また、近藤氏は、今回の移転について、「PCだけでも、1200台を移動させる大規模な移転ですから、多少のトラブルは覚悟していましたが、実際にはほとんどありませんでした。あらかじめ想定されるリスクと解決策を明示してくれたNECネットズエスアイのおかげだと思っています。また、分散していた部門が1つに集まったことで、これまで以上にコミュニケーション

最適な電源、空調設計が施されたサーバールーム



ンが活性化し、フロアのあちこちで気軽にミーティングする姿が見られるようになるなど、移転の成果も上々です」と述べる。

今後、同社では、移転時に構想した施策の実施などを検討し、新オフィスのシステム運用の効率化やさらなる安全性向上に取り組む予定だ。システムの運用サポート事業を展開するNECネットズエスアイには、その際のパートナーとしても強い期待が寄せられている。新本社ビルへの移転を機に新たなフェーズに突入した同社のビジネスに注目したい。

A

(※) 三井住友カード発表による

お問い合わせは

NECネットズエスアイ

NEC Networks & System Integration Corporation

SI&サービス事業本部 ICTソリューション推進本部
コンサルティンググループ
TEL:03-6699-7502/FAX:03-6699-7904
URL:http://www.nesic.co.jp/solution/eo/iten/index.html

USER PROFILE

三井住友VISAカード

三井住友カード株式会社

本社所在地：東京本社
東京都港区海岸1-2-20
大阪本社
大阪市中央区今橋4-5-15

設立：1967年12月26日
資本金：340億3000円（2008年3月末日現在）
従業員数：1989人（2008年3月末日現在）
業界他社に先駆けてICカードを本格導入するなど、先進的な取り組みによるクレジットカード・ビジネスを展開。会員数は、1641万人を誇る（2008年3月末日現在）。